



## 安全データシート

Copyright, 2021, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	16-2848-6	版	1.00
発行日	2021/02/25	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称

エスぺ™ ジル

#### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	歯科用製品事業部
電話番号	042-770-3725

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

引火性液体： 区分2  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分2A  
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3  
水生環境有害性（急性）： 区分3

#### GHSラベル要素

注意喚起語  
危険

#### シンボル

炎 感嘆符

#### ピクトグラム



#### 危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H319	強い眼刺激。
H336	眠気又はめまいのおそれ。
H402	水生生物に有害。

### 注意書き

### 安全対策

P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースを取る。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P233	容器を密閉しておくこと。
P241	防爆構造の照明、換気、電気装置を用いること。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P264	取扱後は、手指をよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

### 応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P370 + P378G	火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

### 保管

P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

### 廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

## 3. 組成及び成分情報

成分	CAS番号	重量%
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	2530-85-0	< 3
メチルエチルケトン	78-93-3	< 2
エタノール	64-17-5	> 95

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気的环境中に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

一酸化炭素  
二酸化炭素  
刺激性蒸気あるいはガス

#### 条件

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

### 消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場

所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

**環境に対する注意事項**

環境への放出を避けること。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

漏洩を止める。アルコールやアセトンのような水溶性溶剤に適した泡消火薬剤で漏洩箇所を覆う。出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。金属製の容器に収納する。水で残さを清浄する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

**取扱い**

皮膚への長時間又は反復接触を避ける。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後は手指をよく洗うこと。環境への放出を避けること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。眼に入れない。静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電气的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

**保管**

換気の良い場所で保管する。涼しいところに置くこと。容器をしっかりと密閉しておくこと。熱から離して保管する。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

**8. ばく露防止及び保護措置**

**管理項目**

**許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
エタノール	64-17-5	ACGIH	STEL : 1000 ppm	A3: 動物発がん性物質
メチルエチルケトン	78-93-3	ACGIH	TWA : 200ppm、STEL : 300ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	ISHL	TLV (8時間) : 200 ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	JSOH OELs	TWA (8時間) : 590 mg/m3(200 ppm)	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

よく換気されたエリアで使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。  
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

皮膚の保護についてはセクション7を参照。

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	液体
色	無色。
臭い	アルコール
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない。
融点・凝固点	約 -114 °C
沸点, 初留点及び沸騰範囲	78 °C [試験条件: 101,325 Pa]
引火点	12 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	<=1 [参照基準: 酢酸ブチル=1]
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	3.5 %
燃焼点 (上限)	15 %
蒸気圧	5,999.5 Pa [試験条件: 20 °C]
蒸気密度/相対蒸気密度	>=1 [参照基準: 空気=1]
密度	0.79 g/cm <sup>3</sup> - 0.85 g/cm <sup>3</sup> [試験条件: 23 °C]
比重	0.79 - 0.85 [参照基準: 水=1]
溶解度	完全に溶解する [試験条件: 23 °C]
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	1.1 mPa-s [試験条件: 23 °C] [詳細: MITSデータ]
揮発性有機化合物	90 %
揮発分	95 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物	データはない。

エスベ<sup>TM</sup> ジル

(JIS-GHSの要求項目ではない)	
モル重量	データはない。

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

### 避けるべき条件

熱。

火花ないし炎

### 混触危険物質

強酸化性物質

### 危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

### 毒性学的影響に関する情報

#### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

#### 眼に入った場合

眼への激しい刺激：発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

#### 皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

#### 吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

#### 飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

#### その他健康影響情報

#### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

中枢神経機能の抑制：頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

#### 長時間又は反復暴露した場合：

吸入作用：症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。

#### 追加情報

この製品はエタノールを含有する。アルコール飲料およびそれらに含有するエタノールは、IARCの調査でヒトに発がん性があると報告されている。またアルコール飲料には発生毒性および肝毒性がある。本製品の通常使用においては発がん、発生毒性、肝毒性の発現は予想されない。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

#### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入-蒸気 (4時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
エタノール	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,800 mg/kg
エタノール	吸入-蒸気 (4時間)	ラット	LC50 124.7 mg/l
エタノール	経口摂取	ラット	LD50 17,800 mg/kg
メチルエチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 8,050 mg/kg
メチルエチルケトン	吸入-蒸気 (4時間)	ラット	LC50 34.5 mg/l
メチルエチルケトン	経口摂取	ラット	LD50 2,737 mg/kg
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	皮膚	ウサギ	LD50 > 20,900 mg/kg
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	吸入-粉塵/ ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 2.28 mg/l
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,225 mg/kg

ATE=推定急性毒性

#### 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
エタノール	ウサギ	刺激性なし
メチルエチルケトン	ウサギ	わずかな刺激
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
エタノール	ウサギ	激しい刺激
メチルエチルケトン	ウサギ	激しい刺激
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
エタノール	ヒト	区分されない。
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	モルモット	区分されない。

呼吸器感作性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するのに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
エタノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
エタノール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルエチルケトン	In vitro	変異原性なし
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	In vitro	変異原性なし
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
エタノール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルエチルケトン	吸入した場合	ヒト	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
エタノール	吸入した場合	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 38 mg/l	妊娠期間中
エタノール	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 5,200 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
メチルエチルケトン	吸入した場合	発生毒性は区分されない	ラット	LOAEL 8.8 mg/l	妊娠期間中
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2,100 mg/kg/day	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露



名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
エタノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	LOAEL 9.4 mg/l	非該当
エタノール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	区分されない。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
エタノール	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
エタノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	イヌ	NOAEL 3,000 mg/kg	
メチルエチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	公的な分類	NOAEL 非該当	
メチルエチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
メチルエチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 非該当	適用しない。
メチルエチルケトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	LOAEL 1,080 mg/kg	適用しない。

#### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
エタノール	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ウサギ	LOAEL 124 mg/l	365 日
エタノール	吸入した場合	造血器系   免疫システム	区分されない。	ラット	NOAEL 25 mg/l	14 日
エタノール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 8,000 mg/kg/day	4 月
エタノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	イヌ	NOAEL 3,000 mg/kg/day	7 日
メチルエチルケトン	皮膚	神経系	区分されない。	モルモット	NOAEL 非該当	31 週
メチルエチルケトン	吸入した場合	肝臓   腎臓および膀胱   心臓   内分泌系   消化管   骨、歯、爪及び/又は毛髪   造血器系   免疫システム   筋肉	区分されない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 非該当	7 日
メチルエチルケトン	経口摂取	神経系	区分されない。	ラット	NOAEL 173 mg/kg/day	90 日
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	皮膚	皮膚   肝臓   腎臓および膀胱	区分されない。	ウサギ	NOAEL 2,100 mg/kg/day	17 日
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	吸入した場合	呼吸器系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 0.05 mg/l	14 週
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	吸入した場合	肝臓   造血器系   眼   腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 0.244 mg/l	14 週

#### 吸引性呼吸器有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生毒性（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

#### 水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	2530-85-0	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	2530-85-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	2530-85-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	2530-85-0	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	2530-85-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>=100 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	液状化	実験	12 時間	IC50	1,873 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	1,150 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	2,993 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	EC50	2,029 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	308 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	EC10	1,289 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
エタノール	64-17-5	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	14,200 mg/l
エタノール	64-17-5	魚（その他）	実験	96 時間	LC50	11,000 mg/l
エタノール	64-17-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	275 mg/l
エタノール	64-17-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	5,012 mg/l
エタノール	64-17-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	11.5 mg/l
エタノール	64-17-5	ミジンコ	実験	10 日	NOEC	9.6 mg/l

### 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
3-メタクリロキシプロピル	2530-85-0	実験 加水分解		加水半減期	4 時間 (t)	非標準的な手法

## エスペ<sup>TM</sup> ジル

トリメトキシシラン					1/2)	
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	98 % BOD/ThBOD	OECD 301D - クローズドボトル法
エタノール	64-17-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	89 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)

### 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
3-メタクリロキシプロピル トリメトキシシラン	2530-85-0	実験 BCF-Carp	42 日	生物濃縮係数	<34	非標準的な手法
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.29	非標準的な手法
エタノール	64-17-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.35	非標準的な手法

### 土壌中の移動性

データはない。

### オゾン層への有害性

データはない。

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1170 エタノール溶液

輸送分類 (IMO) : 3 引火性液体

輸送分類 (IATA) : 3 引火性液体

容器等級： II

### 国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

### 国内法規制及び関連情報

#### 日本国内法規制 (主な適用法令)

消防法：第四類アルコール類

船舶安全法、航空法：引火性液体類

医薬品及び医薬部外品は毒物及び劇物取締法の対象外。医薬品、医薬部外品及び化粧品は労働安全衛生法の表示・通知対象外。

主な法規制物質

成分	法規名		
	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
メチルエチルケトン	570（メチルエチルケトン）	該当なし。	該当なし。
エタノール	61（エタノール）	該当なし。	該当なし。

## 16. その他の情報

改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。